

園長先生が贈るお便り。日々の育児のささやかな参考になれば…。

園長先生の森

今回のテーマは

「園内、園外でよく聞かれる、モンテッソーリについて。
モンテッソーリってなあに!？」

では、貴重な文字数が限られていますが、まずは「挨拶」「ライオンの子保育園に可愛い我が子をあずけていただいている我が園の保護者のみなさまこんにちは、園長の末広です。」このお便りは、園長が自由気ままではあります、皆さんの日々の育児の休憩時間になればとの想いを込めまして、不定期にお贈り致しますので、お楽しみ頂けたら幸いです。さて、今回は園のパンフレット等にも記載されています「モンテッソーリの精神」について、少しお話をします。モンテッソーリは、イタリアの女医で、医学、脳生理学、障害児童の研究を続け、子どもたちに生涯を捧げた人物。私がこの「モンテッソーリ」に出合ったのは、数年前、東京を中心に首都圏の有名幼稚園、有名保育園の受験指導を受けた持つことになった時期でした。詰め込み教育のイメージが強かった名門園の受験でしたが、



実はまったく違ったのです。子どもらしい子ども、溢れんばかりの知的好奇心、探究心、負けん気を受け止める大きな寛容性がそこにはあり、そしてそれこそが「子どもは遊んで、主体的に自ら学んでいく」モンテッソーリの精神が息づいているのを知ったのです。

ある日、マンガース組、ぞう組で新聞紙、紙コップ、色とりどりのガムテープを使った制作の時間が行われていました。みなさん眼を見開いて、真剣に思い思いの制作をしています。そして制作が終わったら、今度は発表会です。「ボクは、EHOをつつたけど、ビームが…」。「あのね、わたしはここから虹が出て来る飛行機みたいなの」。「ボクはね帽子をつつたんだ」ウィットに富んだ発表が、つづき拍手とともに、少し照れながらもうれしそうに自慢げな顔。たまらなく愛おしい瞬間です。園での1つ1つの時間はある意味、流動的で結果をとめないません。わかりやすく言い換えると、この幼児期の過ごす時間の成果は、直接的に現れてくる言葉数や器用さ、運動能力、ですが、むしろ目には見えず、少しの積み重ねにより心で育つ、自信や自己肯定観、達成力、我慢強さなどが、子どもの長い人生の素地となる、最も大切な幼児期の結果となるでしょう。

みんなつよい子 ダメな子なんてひとりもないんだ

ライオンの子保育園



子どもの大切な敏感期

ライオンの子保育園では、天気の良い日は、園庭でおおきに遊びます。年齢、月齢にもよりますが、できるだけ太陽の光を浴びて、汗をかき、走ったり、ころんだり、青々とした芝生の上を、自由に遊びます。マンガース組以上は遊具遊びに加えて、鉄棒に挑戦したりします。かけっこもカリキュラムに入ります。「興味・関心がすべての出発点」とモンテッソーリも言っているのですが、私も共感しています。0歳〜3歳までの間に子どもたちは、周りの環境との関わりの中で、自分の中にいろいろな感覚

的印象、色形、大きさ、長さ、肌触り、音の強弱、香り、味などを自分なりにため込んでいきます。この時期を幼児の敏感期といえます。手足の動きの獲得に向けてスイッチやボタン、階段、ドアノブ、携帯電話、ティッシュ、自分で牛乳をコップに注ぐ、などに興味を示し、「いたすら」をします。「発達の旬」であるこの時期には、できるだけ禁止せず、たくさんさせてあげましょう。自我が芽生える2歳期、何でもできるようになる3歳期を過ぎると、自分自身では大人と同じ。ライオンの子保育園では、3歳を過ぎたマンガース組からは、子ども1人1人の考えの自由を、まずは尊重しますが、自由放任ではありません。自由と規律は、担任の先生がきちんとコントロールします。3歳からは、規律の中で自分の自由は生きるんだということを学んでいきます。他の子が集中して何かに取り組んでいる時は、邪魔をしてはいけません。早い遅いは、気にせず、もつと語りかけましょう。だって保護者のみなさんこそが、子どもの一番の頼りなんです。素晴らしいところがあります。でも、素直らしくある必要はありません。デコボコでいいんです。これからも、我が子に寄り添い、視線を合わせて、笑顔忘れずに。

そして、園の先生方、保護者の皆さん方、常に「貫して大切な」のは、子どもに何かを教え込もうとするのではなく、心を真っ白にして、子どもの興味・関心を察知し、意図して、学べる環境を作っていくことです。子どもは学びの出発点が、興味でも我が子への興味関心が関係の出発点です。ですから、2度と戻らないかけがえのない我が子の「幼児期」に興味関心を持つてあげてください。そうすれば必ず子どもは答えてくれます。心全体で、体全体で、答えてくれます。子育てにマニュアルはありません。それぞれの家庭の方針こそが、最も尊いものですし、発達などの早い遅いは、気にせず、もつと語りかけましょう。だって保護者のみなさんこそが、子どもの一番の頼りなんです。素晴らしいところがあります。でも、素直らしくある必要はありません。デコボコでいいんです。これからも、我が子に寄り添い、視線を合わせて、笑顔忘れずに。



ライオンの子保育園の保育目標

- 私たちは
1.愛するところ
2.あきらめないところ
3.感謝するところ
を育てます。



*園長先生と育児、教育相談、なんでもOK! 面談希望は随時受け付けています。(予約制) 希望者は担任、または事務室まで!